

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.7
2011.3.28

第4回対策会議

3月25日、いわて労連会議室で岩手県共同対策本部の第4回会議を開きました。

会議では各組織の取組状況が話され、今回から参加したいわて生協と自由法曹団からも、それぞれの活動が報告されました。

物資受入の倉庫が確定し、運用方法について話し合いました。倉庫は5月中旬まで借りられます。

物資配送については各組織で被災地を訪問する行動計画を共有し、燃料や調達物資、人的支援を効率的に行うことにしました。また、被災地での拠点作りを行い、配送拠点とし、当面受入を止めているボランティアの受入準備に向けても拠点など準備を進めることとしました。

次回の第5回対策会議は4月4日（月）午後1時半からいわて労連会議室で開きます。

全日本民医連から支援物資



3月23日、17時半ころ、全日本民医連からのオムツや粉ミルク、水などを満載した2トントラックが到着し、盛岡医療生協職員約20人が組合員センターへの積み下ろしを行いました。

3月24日には2台のワゴン車を使い大船渡民商など沿岸地域に向け物資を送りました。

今後、全日本民医連から支援物資が3月26日、

3月30日、4月2日と定期的に届く予定となっています。

◆青森県労連、秋田県労連から2回目の支援物資が届く

3月26日（土）は、青森県労連、秋田県労連が2回目の支援物資を届けて下さいました。ワゴン車に物資を満載して、みぞれがちらつく中、青森県労連は宮古民商へ、秋田県労連は東部地区委員会（釜石）にむけて出発しました。被災地から「納豆、カミソリ、ふりかけ、食用油がほしい」という声にも応えて物資調達をして頂きました。

◆農民連の物資をお分けします

岩手県農民連には、全国の農民連から野菜やお米などが大量に集まって来ています。各団体が救援活動する際にお分けすることも可能とのことです。但し、入荷日や配送などで在庫が刻々と変動していますので、品目や数量など詳しいことは直接、岩手県農民連に相談して下さい。

電話019-635-3721

◆日本母親大会連絡会から救援物資と激励のお手紙が届きました

日本母親大会連絡会事務局から、長ぐつ、作業着、くつ下、スープ、飴などが大きな段ボールで2箱届きました。「日本中の母親たちが心をいため、全国各地で救援活動に取り組んでいます。どうぞお身体をいといながら作業にあたられますよう、また一日も早く復旧が進みますよう事務所一同願っております」と心暖まるお手紙も寄せられました。早速、医労連の鈴木書記長の車で陸前高田と大船渡に届けることとなりました。全国の支援を励みに頑張りましょう。